



マレーシアから留学生が来校

12月11日(水)、本校にマレーシア・クランタン州から、留学生のリアンさんが来校しました。彼女はライオンズクラブの青少年交換活動(YCE)の一環で12月5日~12月26日の日本滞在でした。

この日は2年C組の生徒達と1日を一緒に過ごしました。まず、1時間目は歓迎会として、お互いに英語での自己紹介をし、マレーシアや日本・串本の様子について話し合いました。2時間目は2年生B組・C組合同で体育館でバドミントンをして汗を流しました。3・4時間目、調理実習では「めはりずし」と「けんちん汁」、「シミット」をつくり、昼食をとりながら会話を楽しんでいました。5限目の数学の授業は少し難しかったようでしたが、6限目の理科では海に出て貝探しのグループワークを楽しそうに行っていました。

1日だけの交流でしたが、生徒たちは積極的に英語で話しかけ、交流を楽しんでいました。本校の生徒たちにとって貴重な機会となったようです。



防災体験会 避難所運営ゲーム

12月7日(土)、潮岬の南紀熊野ジオパークセンターで「『熊野古道』を世界遺産に登録するプロジェクト準備会」が主催する「防災体験会」があり、本校の生徒も一般の方と一緒に参加しました。

国士館大学の防災・救急救助総合研究所の指導で行われた避難所運営ゲーム「HUG」は、マグニチュード8の大地震が起こり、ライフラインが全て使えないという想定で、避難所である学校で与えられた資器材のみを使って、時間の経過とともに次々と訪れる被災者やハブニングに対処していかなければならないというものでした。参加した生徒は「避難所運営について深く考える機会になった。もし災害が起こったら、できることをして協力していかなければならないと思った」と感想を語っていました。



第3回 マナビイスト支援セミナー

12月7日(土)、第3回マナビイストが本校で行われました。マナビイストは和歌山大学の村田教授から助言を受けながら、受講生が仲間と共に主体的に調査・研究を進める学びの場で、人口減少が進む地域の現状と未来を語り合い、解決の糸口を探るものです。本校の生徒や行政職員、観光関係者など約40名が4班に分かれて熱心に活動しています。5回の企画ゼミを受けた後、2月15日(土)午後1時から本校で研究成果発表会を行いますので、是非ご来場下さい。



授業紹介 3年生 南紀自然文化探究

12月6日(金)、大島のジオサイトの見学。この日は曇り空でしたが地獄の釜、須江崎、海金剛、苗島などジオサイトをガイドさんに解説していただき、雄大な自然を再確認できました。



12月13(金)、鉱物分離の実験。近辺で取れた砂をおたまですくい、水を張ったバケツの中で回すことで比重の重い鉱物が沈み、軽いものは水に浮かんで取り除かれていきます。最終的におたま内に沈んだものの中から実体顕微鏡でガーネット(宝石)を探しました。



12月20日(金)、砂粒の生物探し。近辺の海岸で取れた砂の中から貝のかけらやウニのとげ、サンゴのかけら、有孔虫などの目に見えない小さな生物を実体顕微鏡で探しました。

